

令和八年度 山口大学大学院人間社会科学研究所（修士課程） 人文科学専攻  
**入 学 者 選 抜 学 力 検 査 問 題**

試験区分	一般入試
教科・科目名	専門科目（思想）

**注 意 事 項**

- 一 試験開始の合図があるまで、問題冊子、解答用紙及び下書用紙の中を見てはいけません。
- 二 出題科目、ページ範囲、解答用紙及び下書用紙の枚数は、左表のとおりです。

出題科目	ページ範囲	解答用紙枚数	下書用紙枚数
東洋思想史	一～三	二	二

- 三 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁、解答用紙及び下書用紙の汚れ等に気がついた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 四 試験開始後、すべての解答用紙に受験番号及び氏名を記入してください。
- 五 解答はすべて解答用紙の指定された解答欄に記入してください。
- 六 問題冊子の余白は適宜使用してください。
- 七 各問題の配点は、二〇〇点満点としたときのものです。
- 八 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

I 次のテーマについて、自らの研究対象を例として挙げつつ、解答用紙一枚以内で論じなさい。

(配点 一〇〇点)

「倫理思想史研究の意義」

II 次の(一) (二) は、日本思想史上の古典的文献からの引用である。これを読み、それぞれについて、文献名を明らかにしつつ、思想内容を説明しなさい。解答の順序は問わないが、冒頭に番号を記し、(一) (二) をあわせて解答用紙一枚以内におさめること。

(配点 一〇〇点)

著作権保護の観点から掲載しておりません。

著作権保護の観点から掲載しておりません。

著作権保護の観点から掲載しておりません。

令和8年度山口大学大学院人間社会科学研究科（修士課程）人文科学専攻  
入学者選抜学力検査問題  
「専門科目（思想－東洋思想史）」  
出題時における出典不記載について

大問Ⅱについて、解答に影響があるため、出題時には出典を明記しなかった。出典は以下の通りである。

Ⅱ（一）

次田真幸全訳注『古事記』（上）講談社学術文庫、講談社、1977年。

Ⅱ（二）

中田祝夫全訳注『日本霊異記（中）』講談社学術文庫、講談社、1979年。